



4月初旬の早朝、自宅の前を真新しいスーツの若者達がぞろぞろと歩いて行きます。最寄り駅から近所の大学へと向かう新入生の一団です。入学式がやっと普段通りに行われるようです。コロナ禍の影響で久々に目にする光景は特別新鮮で、大変気持ちのいい朝となりました。

一方目の前の新入生とは言えば、呑気な私とは裏腹に皆緊張した面持ちで整然と通り過ぎて行きます。なじみのない街、初めて通う学校、親しい友達もまだいません。たまに友人らしき新入生と連れだって歩く者もいますがほとんどが一人のようです。希望や不安が入り交じったなんとも言えぬ気持ちであることを十分察することができます。中には地方から上京した生徒もいるはずで、「もしかしたら九学出身の生徒がこの中にいるかも知れない」。その時は「九学出身者いるかー!？」と本気で呼びかけようかと思いました。

何気ない日常の風景でしたが、この生徒達と同じような立場の九学出身者がいるならば、同窓会は彼らや彼女らの緊張が少しでもやわらぐような場でありたい。そう思わせる朝の一コマとなりました。さて、今回はどうしても先般のWBC（ワールドベースボールクラシック）について語らぬ訳にはまいりません。結果については優勝ということでこの上なく素晴らしく、とくに準決勝、決勝の試合は見応えがあり感動的でした。好調な日本チームにあって、ひとり不振にあえぐ村上選手。凡退のたびに国中のため息が聞こえるようで心が痛みます。九学出身者としては人ごととは思えず、熊本の親御さんの気持ちまで考えてしまいます。ボールや球種、または微妙に違うストライクゾーンなど日本の野球と異なる部分への順応が大変だったのかもしれませんが。しかしそこは不振であろうが好調であろうがテレビに映る後輩の一挙手一投足を見逃さず復調を信じて応援しよう。それが九学の連帯であり、その辺のわかファンとは違うところなんだ!と、勝手な使命感で見守ります。そして待ちに待った準決勝、メキシコ戦でのサヨナラヒット。決勝では特大のホームランを打ち日本チームの優勝に大きく貢献してくれました。指揮官として根気強く村上選手を使い続けた栗山監督にも頭が下がります。そしてその気持ちに伝えるべく、ここぞという時に結果を出した村上選手の並外れた集中力、修正力は本当に凄いと云う他ありません。いろいろと記憶に残るシーンはありませんが、凡退が続いても腐ることなく、ベンチに戻るとす

ぐに顔を上げて声を出す村上選手の姿がとても印象的でした。村上選手を最後まで信頼し「勝負してこい!」と言ってくれた栗山監督も、そういった彼の様子を見ていたんですね。


試合後、村上選手は「最後は、たまたま僕に打順が回ってきただけ、

皆さんのおかげです」。「監督の期待に応えられたのが何よりうれしかった」。「この試合を経験してさらに高い目標できた」。などとコメントしていましたが、インタビューへの受け答えも非常に明瞭で謙虚です。またチームメイトのヌートバー選手が、「村上の英語は素晴らしい」と褒めていたそうで、そんな彼の人柄や知性の大半が九学で培われたものである事を卒業生としてとても誇らしく思います。

とにかく村上選手は、今や様々なところで影響力を及ぼす人となりました。私の村上効果と言え、最近の自己紹介が非常に楽になったことです。出身は熊本で高校は九州学院です。と言いさえすれば「あ、あの村上選手の先輩ですね」とすぐに話が通じます。ちょっと前までは、柔道の山下先生(現JOC会長、九学柔道部の2年先輩)の後輩です、で通っていたのですが、最近は山下先生の後輩と村上選手の先輩という2つのキーワードを時に応じて使い分けさせてもらっています。これは九学のOBならではの特権です。

山下先生といえば、先のオリンピックで不適切な資金の運用がなされた事件を受け、大会の運営に新たな統治指針を設けるなどして、現在浄化作業に取り組んでおられます。様々な種目のアスリートたちが安心して競技に臨み、存分に力を発揮できるように。また私たちもスポーツの素晴らしさを心から享受することができるように。その下地となる大切な





令和5年度
東京九学会 総会・懇親会
7月1日学士会館にて 午後5時半開会
皆んなで校歌を歌いましょう!

環境作りです。先頭に立って尽力されている山下先生には村上選手と同様に心からエールを送りたいと思います。

会長 S 30 島本 誠

= 同窓会事務室の窓から =

S24 小手川 勲

この三年間、私達を翻弄して来た新型コロナウイルスもどうやら終息しそうな様相を見せ、何とか元の生活を取り戻せそうな明るい光を感じるようになりました。九州学院のキャンパスに咲き誇る桜の花が例年以上に美しく愛おしく思えます。



3月1日に高校(S75回)、また3月11日には中学校(J76回)の卒業証書授与式がそれぞれ行われ高校327名、中学校106名が学び舎を巣立ちました。もうじきすると中学・高校の新生を迎え九州学院の113年目の新たな歴史が始まります。

先日お届けしました「九学通信135号(2月27日発行)の同窓会だより」でお知らせしましたように同窓生の各分野での活躍には目を見張るものがあります。3月中旬に日本中を熱狂させた第5回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)では、日本での1次リーグから不振に喘いだ村上宗隆選手(S70回卒)がマイアミでの米国との決勝戦で特大の本塁打で日本の優勝に貢献したことは実に誇らしいことでした。また、3月20日、東京・後樂園ホールで行われた、日本バン



ナム級タイトルマッチ10回戦で、同級王者堤聖也選手(S66回卒・角海老宝石)は、同級1位南出仁選手(セレス)を7回1分41秒、レフェリーストップによるTKOで見事勝利を収め2度目の防衛に成功しました。世界を視野に入れたこれからの活躍が大いに期待されます。

現役の部活生で全国大会で活躍した者も多く、中でも4月4日(～9日)、東京アクアティクスセンターで行われた「第99回日本選手権水泳競技大会」で、3年の仲光陸遥選手が男子1500m自由形決勝で5位(記録=15分19秒07)に入る健闘をみせました。

仲光選手は決勝進出者では唯一の高校生であり、社会人・大学生の強豪と競っての5位は今後のさらなる飛躍が大いに期待される結果となりました。

最後になりますが、いよいよ4月21日(金)に4年ぶりの「大同窓会総会・懇親会」が開催されます。今回の入場チケットは諸事情により従来の各学年の担当者による販売形式ではなく、学校から郵送される九学通信と共に振り込み用紙を入れてのご案内に変更されました。

そのため参加予定者の人数が読めず、同会の実行委員会(青山正志委員長・S30回卒)、昨年設立された女子部会「リディア会」(後藤佑佳子会長・S49回卒)、事務局などが一丸となり準備が行われているところです。同会の大盛況をお祈り致しております。

これまで自粛を続けて来た同窓会の各支部・学年・職域などの同窓会も次第に元の活発さを取り戻していくことが

青少年特定非営利活動法人

青少年スポーツの 振興を図る会

S25 田山淳朗

川崎会計事務所

税理士 川崎 義治

東京九学会監査役(S11)

〒171-0021 東京都豊島区西池袋5丁目24番12号 西池袋ローヤルコーポ902
TEL (03)3984-2858 FAX (03)3984-2868 URL <http://www.kkj.biz>

期待されています。どうか、今後とも宜しくお願い致します。
皆様方のご健康とご多幸をお祈り致しております。

(2023年4月吉日)

九州学院同窓会広報委員長 Isao ♥ KoteGawa (S24)

我が人生に悔い無し

S4 森田 茂



24歳の時「東京第一商事(株)福岡営業所」に営業担当として入社した頃、まだコンピューターが日本に入ってくる前の時代で、事務機業界の会社でしたから、手動計算機は国産で、電動計算機・電動会計機・電動タイプライターなど、外国製を販売していました。

入社当時は、先輩が九州地区での大手企業(八幡製鉄・九州電力・安川電機など)を担当されていたから、私としては、地元の官公庁や中小企業、それに東京・大阪に本社の在る支店への売り込みが主体の為、まだ事務の合理化が進んでいない時代でしたので、色んな企業の事務部門にお伺いして、事務の流れをお聞きした上で、機械導入によって合理化できる提案書(フローチャート)を作成して説明に伺うやり方を実行しました。その結果、色んな企業・官庁でご購入頂く事が出来、成果を上げることが出来ました。

このきっかけとなったのは、小さい頃から親父に聞かされていた「世の中は知恵比べだよ」の言葉が、「アイデア勝負・企画力勝負」の事だと分かり、この時から会社の中でもいろんな事を考え提案し実行することになりました。お陰で26歳の時係長になり、大卒3人を部下として配属されました。その後印刷機械・製版機及び材料なども取り扱うようになり、印刷業界にも営業範囲が拡張され、当時の営業所の活動範囲であった九州各県と山口県に販売代理店を設置し、営業を拡大することが出来、30歳で営業所長を拝命しました。

入社時7名だった営業所が、この時24名に拡大していま

した。またこの間に、社内のコミュニケーションを良くする為、「皆の前では一人を絶対に叱らない。問題がある時は1対1で話し、意見も聞いてあげる。一人を褒めるときは皆の前で褒めてあげる。」を実行したお陰で、営業所内の雰囲気が良くなり、皆が楽しく仕事をしてくれました。

このお陰で33歳の時に、東京本社に営業課長として来てくれないかと要望があり、本社に転勤しました。この頃本社に来たことで、「社員が会社に在籍していることが誇れる会社になって欲しい」と考え、その為に色んな提案をし、行動することになりました。

本社に勤務して2年経った頃から、色んな部門の部長を体験することになり、丁度日本でもコンピューターの生産が始まった頃、総合商社が事務機業者を買い取ることが始まり、当社は「丸紅(株)」に買い取られ、37歳の時「丸紅エレクトロニクス株式会社」になりました。この時東京第一商事(株)の殆どの社員は、産業機械事業部(印刷関連の機械・材料が中心の部)に配属されましたが、私は「情報処理システム部」と言う部門の部長代理で、丸紅(株)から出向の社員と一緒にコンピューター関連の仕事をするようになりました。その後39歳の時、名古屋営業所を支店にするので支店長で行って欲しいと言われ、名古屋に支店長で転勤し、3年目から黒字にすることが出来ました。ところが3年経過後、以前福岡で9年勤務していたことから、今度は福岡支店を黒字にして欲しいと支店長で行くことになりました。

まだ名古屋支店長の時、丸紅(株)本社が関係した「ロッキード事件」があり、官庁関係の仕事は全てキャンセルになりましたが、逆に他の地元のお客様が応援をしてくれたお陰で、黒字転換出来ました。本当に地元のお客様に感謝です。

また名古屋在住の時に、たまたま日曜日に家でテレビを見ていた時、当時の松下電器産業(株)の社長さんとハナ肇さんの対談中に、社長さんから「心が変われば行動が変わる・行動が変われば環境が変わる・環境が変われば人格が変わる・人格が変われば運命が変わる」を座右の銘でやって来たとの話しを聞いた時、素晴らしい言葉だったので、自分の座右の銘にしようと決断したことで、この後この言葉が自分の行動の参考になっています。

福岡支店長では、過去にお付き合いした皆様のご協力

日本の伝統芸能普及集団

喜楽會

成田家笑仙一座

会長・座長 **成田家笑仙**

こと **森田 茂 (S4)**

〒332-0012 川口市本町3-1-15 タカラサンロージェ 1103
TEL/Fax:048-234-8241 携帯:090-9973-0389

寿司・季節料理
くまもと料理

あづま

TEL 03-3213-2728(休日:土・日・祝)

理 容

ニュー東京

TEL 03-3215-2538(休日:日・祝)

〒100-0005 千代田区丸の内3-4-1(新国際ビルB1) **吉村 勉 (S9)**

を頂き、お陰様で順調に成果を上げ始め、1年目から黒字転換出来る見通しとなっていました。丸紅エレクトロニクス(株)全体では大赤字を出していたことから、会社の建て直しを図ると言うことで、ずっと黒字であった産業機械事業部を、ベニープリンティング株式会社として分離独立させるということになり、ベニープリンティング(株)の先輩から、企画部長で当社へ是非来て欲しいと誘いがあり、福岡支店長は1年で東京に帰ることになりました。実はベニープリンティング(株)は、社長・常務は丸紅(株)からの出向の方でしたが、取締役営業部長(先輩)を始め、全ての社員は元東京第一商事(株)の社員でしたので、従来からの目標であった「社員が会社に在籍していることが誇れる会社」にすることに専念出来る事を確信し、その為に色んなことを社長・常務・取締役の先輩に提案し実行し始めました。

まず社員第一ですから、社員が安心して仕事に励める給与体系の確立から始め、本社及び支店・営業所の課長以上を集めて、会議を丸紅(株)本社の社員研修所をお借りして、年2回それぞれの年度事業計画及び予算(3ヶ年を含む)を作成し、それを参加全員の前で発表を行って、皆の意見を聞いた上で、最終事業計画及び予算を決定し実行した結果、それぞれ頑張ってくれ3ヶ年計画通りの利益を達成してくれました。それと他に最初の1年目の8月に、全社員(本社の事務担当や地方の事務担当の女性社員を含め)を土曜日の午後、東京のホテルに集合させパーティを開き、社員のコミュニケーションの改善を図りました。また翌年・翌々年には会社社員全員で、販売している機械のメーカーの工場見学にも行ったお陰で、社員全員の会社に対する意欲が増してきました。大変費用も掛かりましたが、その分利益も確保出来ましたので、社員全員が会社で積極的に行動し、貢献してくれるようになりました。

その頃コンピューターの普及により、印刷業界も大変な変化が起こり始めていました。版下の作成などもコンピューターで出来るようになり、コピー機の普及等の他、我々の生活の中でも、物品の購入などでカードの普及、電話でテレホンカードの使用なども含め、日本経済のバブルが起こり始め、色んな物品の広告印刷等が拡大し始めたこともあり、これらに対応する色んな機械やシステムを機械メーカーと検討の上、

新機種等を作成し、印刷業界向けに販売を開始し始めました。特にその中で、中小印刷業向けにプリントショップの展開を提案し、全国の販売代理店を通して、毎週土曜日ごとに「内容の講習・展示会」を開催した結果、印刷業界の方達の導入が広がり、業績に多大の貢献をしてくれました。

ところが独立して3年が経過した時に、丸紅(株)本社の意向で、当社を含め3つの会社が合併することになり、丸紅機械販売株式会社と言う会社となり、印刷システム部長を任命(当時46歳)され、印刷部門を仕切ることになりました。

その8年後に社名が丸紅マシナリー株式会社になり、翌年取締役印刷システム部長(55歳)、4年後に常務取締役(59歳)・3年後に専務取締役・翌年に代表取締役社長(63歳)を拝命しました。通常丸紅(株)に買い取られた会社の社員(プロパー社員)では、常務以上を拝命した人はいませんでしたので、専務以上になったのは私が初めてでしたし、通常丸紅(株)本社から派遣されていた社長は、65歳で退職されるのが普通で、2年後に取締役会長(65歳)になって、翌年66歳で退職したのは、私が初めてのことでした。

実は印刷システム部長になった時から、印刷業界の機械や材料を取り扱っている会社の団体「日本印刷機材連合会」の関東地区団体「東部印刷機材協議会」に常任幹事として関係していましたが、社長になった頃から、両団体役員から会長になって欲しいと依頼があり、会長を引き受け会長になった時に、丁度「日本印刷機材連合会」の40周年に当たり、40周年のパーティでは、米国の機材団体の会長もお呼びして、帝国ホテルで実施しました。66歳で退職後、当然会社を離れた訳ですから、関係ないので辞任しました。

在職当時は、印刷業界の団体役員や会社社長さんから、「森田さんからは、他人の悪口などを一度も聞いたことが無い、それだけでも信用・信頼が出来る」とよく言われていました。

兎に角、会社や業界で色んな役職を拝命出来たのは、自分一人の力ではありません。社員の皆さんや業界の皆さんのご協力があったお陰で出来たことで、社員の皆さんや業界の皆さんに感謝・感謝です。本当に有り難いことです。今でも多くの方との人脈が役に立っており、皆さんのご協力を頂

廃棄物処理を通じて社会に貢献します

株式会社クリーンテック

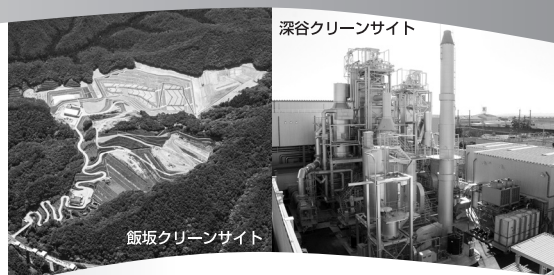
飯坂クリーンサイト
ISO 14001 認証取得
〒960-0261
福島県福島市飯坂町中野字赤落27番
TEL:024-541-2811 FAX:024-541-2510
東京事務所
〒163-0712
東京都新宿区西新宿2丁目7番1号 小田急第一生命ビル12階
TEL:03-6304-5010 FAX:03-5323-6750

株式会社クリーンテックサーマル

深谷クリーンサイト
ISO 14001 認証取得
〒366-0812
埼玉県深谷市大字折之口1985
TEL:048-572-3445 FAX:048-572-3446



クリーンテックグループ
相談役名誉会長 反後 堯雄 (S6/昭和29年卒)



クリーンテックグループホームページURL <http://www.clean.ne.jp/>

けるからこそ、毎日健康で楽しく過ごせているのです。

「世の為 他人の為・思いやりを忘れずに」

尚、退職後の活動は、東九通信の29号に「趣味を活かして生きがいづくり」を掲載して頂いています。

長文をお読み頂き有難う御座いました。

九学の英語が決めた私の人生

S15 竹熊 誠

「九学100年史」によると、初代院長の遠山参郎先生は、夏目漱石の英語の直弟子だったとか。漱石が英国留学のため熊大の英語主任を辞したとき、後任の英語主任に指名したのが遠山先生だったのです。九州学院の英語教育は歴史があるだけでなく、実に由緒正しいものでもあるのです。

私が九中から高校に進学したのは、思えば60年ほども昔。当時から九学には米国から宣教師として派遣された英語の先生がおられました。熊本市内で外国人の先生がいる高校は九州学院と九州女学院(当時)以外、まずなかったのではないのでしょうか。そのため当時の九学は「ハイカラ」な学校とされ、生徒はおしゃれと言われたものです。近くのあまりお行儀がよくないとされていた男子校の〇〇高校(今は男女共学)と比較されることも多く「〇〇はほんくらほんくら(シツレイ)、九学はおしゃれ」というざれ歌もあったようです。もっとも当時の九学は男子校だったので、オシャレとってまたかが知れたもの。男女共学の今の九学の生徒さんと比べれば、ダサイといわれるかもしれません。

当時すでに「英語の九学」と言われており、英語を勉強したいばかりに熊高や済々黌といった当時の熊本きっての進学校を蹴って、九学に入学したという学生もいたものです。実際、米国留学帰りがいたり、新聞社に選ばれて留学する者、全国英語弁論大会で優勝する者、あるいはNHKの英語番組に熊本の高校生代表として出演する者がいたり、当時から九学はすでに国際色豊かな学校だったのです。

私が米国に留学できたのも、こんな九学だったからです。高1に進学した年、米国から英語教師としてソルバーク先生という方が赴任してこられました。同先生が九学の生徒を



1年間、米国の母校(ニュージャージー州アプサラ大学)に留学生として送り込むというプログラムを企画されたのです。往復旅費、1年間の学費と生活費を含む留学費用はすべて同大学の学生たちの募金でまかなうという、当時の日本では考えられない破格な計画でした。校内募集で手を上げたのはラッキーなことにひとりだけ。当初、高校卒業と同時に米国に出発の予定でしたが、米国での資金集めに時間がかかり、結局、日本を出たのは卒業2年後の1965年(昭和40年)でした。

当時の日本は前の年に海外旅行が自由化されたばかりで(それまでは自由に外国旅行することは禁止されていた)、持ち出せる外貨はわずか500ドルまでなど厳しい制約があり、留学などそれこそ一大事でした。

横浜からプレジデントウィルソン号で米国に向かったのは6月末のこと。汽笛や銅鑼の鳴り響く棧橋での見送り風景は今でも目に焼きついています。

サンフランシスコまで2週間の船旅のちょうど中間点あたり、ハワイに寄港した際、たまたま出張中だった池永先生(池永前事務長の父君でのちの院長先生)にお会いし、一緒に島内観光したのも懐かしい思い出です。

留学プログラムは1年でしたが、わがままを通させて頂いて2年目も自費で米国に居残る一方、3年目からカナダのトロント大学に転校、同大を卒業、帰国したのは1970年の夏でした。あしかけ5年の留学となったわけです。

帰国後は希望の新聞社に就職できたのですが、これもすべて米国留学のおかげでした。まさに「九学の英語」がそ



多摩八十八ヶ所第一番札所

真言宗豊山派

安養寺

住職 東京九学会会長 島本誠永(S30)

〒180-0002
東京都武蔵野市吉祥寺東町1-1-21

東京九学会

幹事長

高森 重視

(S32)

の後の私の人生を決めたのです。以来、日本の国際化はめざましく、留学は九学の生徒の間では特別のことではなくなったと聞きます。しかしいつの時代にあっても「九学の英語」は歴史と伝統にも裏付けられた、特別の重みがあります。そんな由緒正しい「九学の英語」に改めて敬意を表すると同時に、いつまでも誇りにしたいものです。

最後にひとこと、WBCで活躍、英語上手とも言われ、昨シーズンは三冠王の村上選手。九学出身としては、次は勿論海外、大リーグ進出でしょう。

Companies young people want in 2023 2023年、若者が求める企業

S54 Matthew Berzins

Even if comparing with just 5 years ago, the way we work has completely changed. Gone are the days where you have to wear a suit, commute to an office building and commit to working from 9am - 6pm. Thanks to technology, as long as you have an internet connection most jobs can be done from anywhere. As a recruiter, I have the opportunity to speak with many different people from a variety of countries. No matter who I talk to, everyone regardless of nationality is looking for the same thing when considering their next company.

◆The top 3 needs of people are:

- Being able to work remotely (some people want 100% remote work)
- Flexibility in the hours they work
- Not being forced to wear a suit

◆Companies are adapting to these needs and we see different working styles such as:

- Having the option to join a meeting in person or online
- Being employed in one country, but working from another country
- Delaying working hours to take care of children or parents

- Taking 1 hour off during the day to exercise and refresh

Personally, I enjoy working in a hybrid style. Some days I want to go to the office to talk to colleagues in person, create connections and exchange ideas. Other days I want to be alone at home so I can concentrate on getting tasks done without distractions. Both of these environments enable me to be productive and I'm a happier employee. Should I ever need to choose another company, I too will be looking for the same flexibility!

わずか5年前と比較しても、私たちの働き方は完全に変わりました。スーツを着てオフィスビルに通い、午前9時から午後6時まで働くことを約束しなければならない時代は終わりました。

テクノロジーのおかげで、インターネットに接続さえできれば、ほとんどの仕事はどこからでもできるようになりました。私はリクルーターとして、さまざまな国のさまざまな人たちと話す機会があります。どんな人と話しても、国籍に関係なく、次の会社を検討する際に求めていることは皆同じです。



私はオフィスで毎日この服装で仕事をしています

翻 訳

竹熊 誠 (S15)

TAKEKUMA, Makoto

〒261-0013 千葉県美浜区打瀬3-1-3 プエナテラーサC-711

TEL・FAX (043) 299-7521

E-mail: mtakekuma@ss.em-net.ne.jp

GINZA 阿 閣 梨

〒104-0061 東京都中央区銀座8-5-26 ラベ2 B1
TEL 03-6825-8319

KITANOBLUE 株式会社GONZO

〒165-0026 東京都中野区新井4-18-16 ナカムラビル402
TEL 03-5942-4598

代表 無法松 (S45)

◆ニーズのトップ3:

- リモートワークができること (100% リモートワークを希望する人もいます)
- 働く時間のフレキシビリティ
- スーツの着用を強制されない

◆企業はこのようなニーズに対応し、現在では次のような多様なワークスタイルが見られるようになりました。

- 対面でもオンラインでも会議に参加できるようにする
- ある国で雇用されているが、別の国で働いていること
- 子供や親の世話をするために勤務時間を遅らせる
- 日中1時間、運動のために休みを取る

個人的には、ハイブリッドで仕事をするのが好きです。ある日はオフィスに行って同僚と直接話し、人脈を作り、アイデアを交換したいです。また、自宅では一人で集中して仕事をこなしたい日もあります。どちらの環境でも生産性を高めることができ、より幸せな社員になっています。もし、他の会社を選ぶことになったら、私も同じように柔軟性を求めるつもりです。(DeepL 訳: バーゼンス君が一か所修正)

BBB: BEAR BOOK BROTHERS

S67 バーグ・ローレン



松村一平 加藤神社から見える「熊本城」

BBB gallery. は熊本出身の3人と、熊本が大好きな1人の合計4人で結成されたアーティストグループになります。その内2名の松村 一平と、バーグ・ローレンは九学 S67 回卒になります。

東京の清澄白河にてグループ展を1月24日から2月5日までの13日間で開催させていただきました。このグループ展では私たちの故郷を意識して、東京在住の熊本出身の方にも熊本を知らない方にもアットホーム感が伝わるようにそれぞれ絵を描かせていただきました。

これからも BBB gallery. で様々な面で活躍できたらと考えておりますので、どうぞ応援よろしくお願いたします。



九州学院110周年 記念植樹・芳名板披露式

大同窓会当日の4月21日15時から、創立110周年記念植樹(生徒リフレッシュスペース前)と、震災復興特別募金寄付者芳名板(4号館1階壁に設置)の披露式が、日笠山吉之チャプレンの司式で行われました。

植樹されたのは“上から見ると花が十字架の形をした”(小副川院長) ハナツバキです。

ルカによる福音書12章に「野原の花がどのように育つかを考えてみなさい。働きもせず紡ぎもしない。しかし、言っておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどに

club
Pass tone

〒104-0061
東京都中央区銀座8-5-22 805銀座ビル 3F
TEL 03-3571-0711

本郷 久 (S32)



も着飾ってはいなかった。今日は野にあって、明日は炉に投げ込まれる草でさえ、神はこのように装ってくださる。ましてあなたがたにはなおさらのことである」とあり、生徒達は、このハナツバキを

見て、癒され、元気を得るだろうというお話がありました。



芳名板は、聖別された後、テープカット、除幕されて、拍手のうちに、募金に応じた約1100の卒業生、協力者、協力法人名が現れました。



懇親会は、高校日本一を目指すチアダンス部の演技で開会し、司会 ゴリけんことS44 町田健一郎さん、S53 吉田佐知子さんが登場し、讚美歌 312 番「いつくしみ深き友なるイエスは」の斉唱となりました。

今回、特記すべきは教職員 47 名の登壇紹介でした。各団体、グループの表演、懇談のあと、村上選手色紙、同カレンダー、九学〜とんこつ拉麺〜が当たるお楽しみ抽選会がありプレゼンターに、東京九学会から、高森幹事長と尾上が指名されました。

校歌斉唱で閉幕。小副川院長がメッセージの中で引用された詩編 133 編第 1「見よ、兄弟が共に座っている。なんとという恵み、なんとという喜び」を体現した 4 年振りの大同窓会でした。

後記：熊本の地震からの復興は目覚ましく、シリコンアイランド中心地として経済も頼もしく発展しようとしています。九学の知育・体育両面の教育は、ますます充実していると感じられます。（尾上）

フレーフレー熊本！ フレーフレー九学！

お詫び：本通信 30 号の 令和 5 年度会費・懇親会費・寄付納入者名簿に、一部 お名前と卒業年度に誤記がございました。謹んでお詫び申し上げます。

世代を超えて2023年 大同窓会

熊本ホテルキャッスルにて午後 6 時 30 分に総会が S1 回生から S75 回生まで 総勢約 400 名の参加を得て開会し、議案は全て原案通り承認されました。



URL : <http://www.kg-kai.jp/>

九学東京若手の会 KG会

代表 坂本 泰亮(S51)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 株式会社オピカ内
TEL : 090-3492-5372 E-mail : s51sakamoto@kg-kai.jp

メール用QRコード
連絡はこちらから



OPICA
CREATING FUN TOGETHER

株式会社 オピカ

岡本 明(S34)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 Tel 03-5300-0722 Fax 03-5300-0723 <http://www.oka-p.co.jp>